

投稿の手引き

1. 原稿はMS-Wordを原則とし、テンプレートにならって作成する。
2. 原稿には、和文題目、英文題名、漢字著者名、ローマ字（略さず）著者名をこの順に書き、脚注として所属官署を和文と英文で書く。英文題名の各単語の頭文字は大文字とする。つづいて、英文要約、本文（図・表・写真とその説明を含む）、文献の順に記す。図表等の説明は英文とする。（英文要約の和訳、図表名とその説明の和訳は別ファイルで提出する。）ただし、報文、雑報の場合、英文要約は省くことができ、図表等の説明は和文のみでよい。文献はそれができないとき省くことができる。
3. 英文要約は、目的、仮定、方法、結論等を明確に20行以内で記述する。本文の数式、図表等は引用しない。
4. 本文
 - 4.1 章・節の切れ目は1行あける。
 - 4.2 章・節の見出しはMSゴシック体とし、各段落の先頭は1文字下げて始める。段落間には空白行を設けない。
 - 4.3 句読点には、「。」（ピリオド）、「、」（コンマ）を使用し、「。」「、」は使用しない。
 - 4.4 人名、地名の読みにくいものには振り仮名を付ける。
 - 4.5 数式、特に本文中の数式は、その前の文と行間が1行程度になるように調整する。数式が続く場合には行間を開ける必要はない。
 - 4.6 括弧は原則として全角を用いる。ただし、括弧内の文字が全て半角英数文字の場合には半角の括弧を用いても良い。
 - 4.6 単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 4.7 暦年は原則として西暦を用いる。ただし、命名された現象名については元号を省略せずに記載する。また、人名の敬称は原則として省略する。
5. 図・表・写真
 - 5.1 図等の表題・説明は、論文の場合は原則として英文で、その他の場合は和文で書く。図表中の文字、記号はもれなく説明する。また、必要な単位は必ずつける。
 - 5.2 図等には、図1、Fig. 1、表1、Table 1のように通し番号を付ける。
6. 文献

文献は、本文の末尾に原則として次の形式にしたがって列記する。並べる順序は和文を先にして50音順、続いて欧文をアルファベット順に並べる。巻は太字にし、斜体にしない。

雑誌 著者名（西暦年）：表題、雑誌名、巻数、号数（原則として省略）、ページ - ページ。

単行本 著者名（西暦年）：書名、第何版、発行所、総ページ数（または引用ページ）。

（例）

安藤邦彦（1992）：表面現象から見た近年の伊豆大島の火山活動の期間とその特徴、*験震時報*，**55**，139-156.

宇津徳治（1985）：*地震学*，第2版，共立出版，310pp.

Hull, A. G. and C. Nicholson (1992): Seismotectonics of the Northern Elsinore Faults Zone, Southern California, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **82**, 800-818.

平成28年3月18日発行

編集兼発行人

気 象 庁

東京都千代田区大手町1丁目3-4

印刷所

株式会社アイガー

東京都新宿区高田馬場3-18-13 サクセス高田馬場ビル

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

Quarterly Journal of Seismology

Vol.79 No.1~4 March 2016

Contents

PAPERS

- Automatic Hypocenter Determination for the Seismological Bulletin of Japan Using Bayesian Estimation
Koji TAMARIBUCHI, Ken MORIWAKI, Hiroshi UENO
 and Shin'ya TSUKADA 1
- Detection of Long-term Slow Slip Event by Strainmeters Using the Stacking Method
Kazuki MIYAOKA and Hisao KIMURA 15

REPORTS

- Secular Change of Geothermal Activity in the Izu-Oshima Volcano Summit Crater
Hiroaki YANAGISAWA, Jun NAGAO and Akimi KAZIYA 25
- Questionnaire Surveys on Seismic Shaking for the Earthquakes in Near Awajishima Island and in Iyonada
Tsukasa TAKARADA and Minoru FUNAYAMA 39
- Reexamining Earthquake Commentary Services
Office of Earthquake and Tsunami Disaster Mitigation, Administration
 Division, Seismology and Volcanology Department 63

Published
 By
 The Japan Meteorological Agency
 1-3-4 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122, JAPAN